

ケル、30年度売上高200億円

新経営計画 海外拡大へ体制整備

ケルは海外事業拡大を基本方針に掲げる2025―30年度の長期経営計画を策定した。国内より成長率が高い海外市場で認知度を高め、海外顧客の要望を取り込み付加価値製品を提供し海外事業を伸ばす。30年度に売上高200億円（24年度比68・5%増）、営業利益30億円以上（同5・0倍以上）を目指す。中国事業は現地の工業機器や画像機器の顧客から新規受注し、27年度に売上高約45億円



（同2倍）に倍増する。海外事業の拡大へ25―27年度の3年で体制を整える。既存のアジアと欧州、北米を伸ばし、新たにインドと東南アジアに販社の設立を検討する。設備投資は3年で計40億円を計画し、うち8億―9億円を6月に稼働予定の中国工場に充てる。27年度に売上高155億円（同30・6%増）、海外売上高80億円▲海外の展示会を通して新たな販路を開拓する

円（同54・8%増）、海外売上高比率52%（同約8・5%増）を目指す。コネクタはフローティング、高速伝送、防水、ハイパワー（電力）の4商品を工業、車載、画像、医療、通信の五つの機器市場に投入する。開発は技術進歩が早い車載と通信機器用に力を注ぐ。日本端子との販売提携、イリソ電子工業との試作品の共同開発以外にも提携を模索して事業領域を広げる。コネクタ―事業以外にコネクタ―にケーブルを含む要求を取り込むハーネス事業、ラック周りの付加価値を上げる機器事業を展開する。